

復習シート 第四学年 国語

【R4】復習シート 小学校4年 国語（言葉）

組	
番号	
名前	

【同音異義語の漢字を文脈に即して正しく使う問題】
次の文の | のカタカナを漢字で書く場合、正しいものをあとの中から、それぞれ一つえらびましょう。レベル3

(1) シュウ|中して勉強する。

1 週 2 習 3 終 4 集

(2) 暗くなる前に、早くカエル。

1 返る 2 買える 3 帰る 4 代える

【漢字の音読みと訓読みを理解する問題】

【2】次の | 線部の漢字の読み方を書きましょう。また、「音」と「訓」のどちらの読み方が、書きましょう。レベル7

(1) 広|間に集まる。

読み方

読み方

音・訓

音・訓

(2) 広大な土地。

読み方

読み方

音・訓

音・訓

【文の構成を理解する問題】

【3】次の文の主語・述語を | 線部1～4の中からそれえらびましょう。

(1) きのうわたしは友達と児童館で遊んだ。

主語

述語

(2) 水族館で見た魚には、青く大きなひがみがあつた。

主語

述語



【文と文のつながり方と接続詞の働きを理解する問題】

4 次の□の中の文を、意味を変えずに、二つの文にします。

□に入る言葉を、あとの中からえらび、二つの文にして書きましょう。

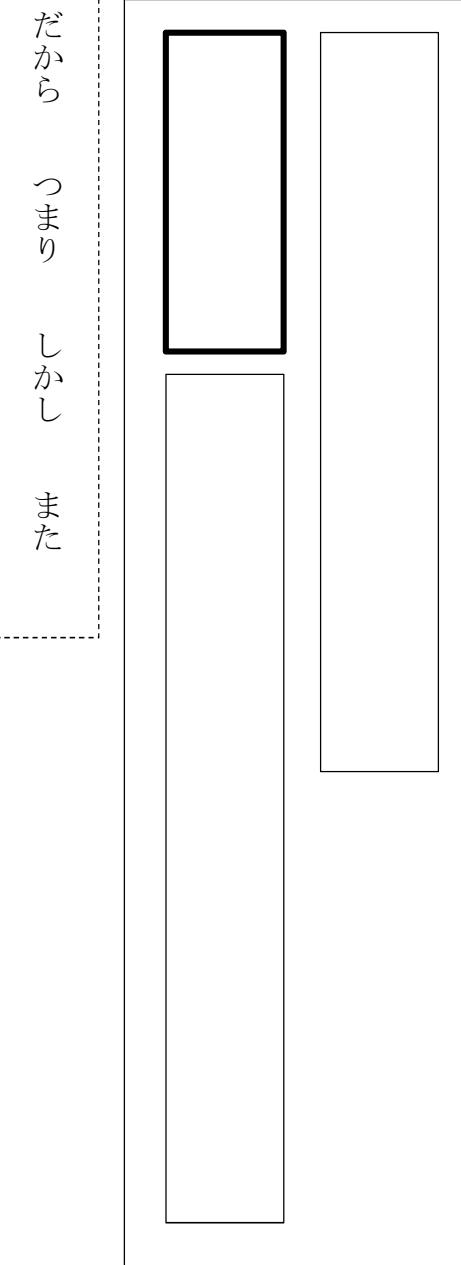
レベル6

雨がふりそうな天気だが、かさを持つてない。



れい たくさん走ったので、足がいたかった。
だから たくさん走った。

だから 足が痛かった。

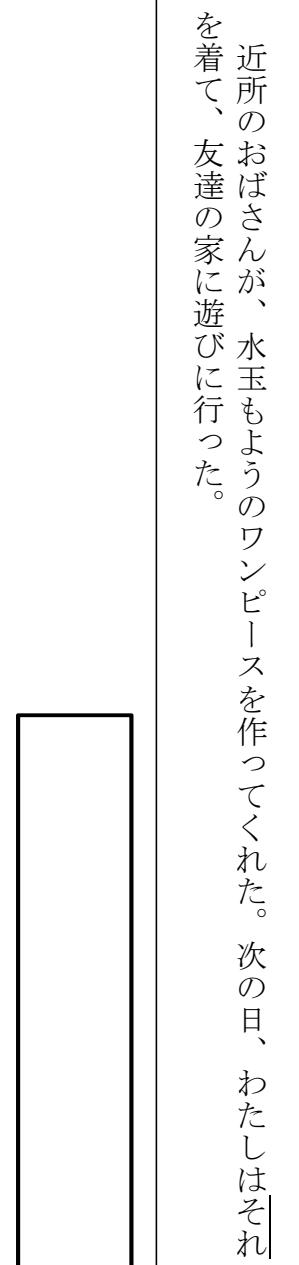


【指示語の役割を理解する問題】

5 次の文の――は、何を指していますか。文章中より書きぬきましょう。

レベル6

近所のおばさんが、水玉もようのワンピースを作ってくれた。次の日、わたしはそれを着て、友達の家に遊びに行つた。

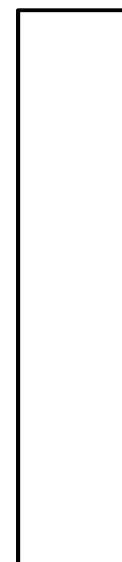


【反対の言葉を理解する問題】

6 の言葉と反対の意味の言葉を、書きましょう。

レベル5

電車が動く。



復習シート 第四学年 国語



模範解答

組	番号	名前

【R4】復習シート 小学校4年 国語（言葉）

【同音異義語の漢字を文脈に即して正しく使う問題】

次の文の | のカタカナを漢字で書く場合、正しいものをあとの中から、それぞれ一つえらびましょう。レベル3

(1) シュウ|中して勉強する。

1 週 2 習 3 終 4 集

(2) 暗くなる前に、早くカエル。

1 返る 2 買える 3 帰る 4 代える

返る=もとにもどす 変える=今までどちがつたものにする
帰る=もとの場所へもどる 代える=あるものに、ほかのものの役目をさせる

週=回る、めぐる 習=何回もくり返し行う 終=終わる、終わり
集=あつめる 「ひとところに集める」の意味をもつ「集」が当てはまる。

4

3

【漢字の音読みと訓読みを理解する問題】
次の | 線部の漢字の読み方を書きましょう。また、「音」と「訓」のどちらの読み方が、書きましょう。レベル7

(1) 広間に集まる。

読み方

ひろま

音・訓

(2) 広大な土地。

読み方

こうだい

音・訓

【文の構成を理解する問題】

次の文の主語・述語を | 線部1～4の中からそれえらびましょう。

中国から入ってきた発音を元にした読み方が「音」です。
もともと日本にあったことばに漢字を当てはめた読み方が「訓」です。

【文の構成を理解する問題】

次の文の主語・述語を | 線部1～4の中からそれえらびましょう。

レベル7

(1) きのうわたしは友達と児童館で遊んだ。

主語

2

述語

5

(2) 水族館で見た魚には、青く大きなひれがあつた。

主語

6

述語

7

主語は、「だれが（は）」「何が（は）」に当たることばです。
述語は、「どうする」「どんなだ」「なんだ」に当たることばです。

【文と文のつながり方と接続詞の働きを理解する問題】

4 次の□の中の文を、意味を変えずに、二つの文にします。

に入る言葉を、あとの中からえらび、二つの文にして書きましょう。



雨がふりそうな天気だが、かさを持つていない。



レベル6

れい たくさん走ったので、足がいたかった。

だから 足が痛かった。

雨がふりそうな天気だ。

しかし

かさを持つていない。

だから つまり しかし また

【指示語の役割を理解する問題】

5 次の文の——は、何を指していますか。文章中より書きぬきましょう。レベル6

近所のおばさんが、水玉もようのワンピースを作ってくれた。次の日、わたしはそれを着て、友達の家に遊びに行つた。

だから=前文から予想される文が次に来る事を表す。
 つまり=前の文についての説明を表す。
 しかし=前の文と反対になるような文が次に来る事を表す。
 また=前の文に、後ろの文をつづくことを表す。
 ここでは、「雨がふりそうな天気」に対して「かさを持つていない」と反対の内容が続くため、「しかし」を用います。

6 反対の意味を理解する問題

の言葉と反対の意味のことばを、書きましょう。レベル5

電車が動く。

止まる

反対の意味の言葉にはいろいろな組み合わせがあります。
 例「上る」と「下る」「行く」と「帰る」

の言葉と反対の意味のことばを、書きましょう。

レベル5

水玉もようのワンピース